

SC販売統計調査報告 2011年9月

9月既存SC前年比 : -1.6 %

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

※SC総売上高(推計)につきましては、東日本大震災の影響により、2011年年間売上高発表時に併せて、年間の推計値として、発表させていただく予定です。

■概況

2011年9月の既存SCの前年同月比は-1.6%で、先月に引き続き前年を下回り、0.3ポイント後退した。

今月は、台風や気候の寒暖の変化に影響を受けた。月前半は残暑の影響で全体的に低調であったが、後半は気温が下がり婦人衣料を中心に秋物商材に動きがあったものの、全体としては先月同様に売上増には至らなかった。テナントは-0.9%。この要因としては、飲食店の不振やシネマにヒット作が恵まれないことによる来店客数の減少などでの売上減があげられる。キーテナントは-3.1%。主要要因としては、昨年売上を押し上げた家電エコポイント制度の終了や、地上デジタル放送移行前の駆け込み需要、節電対策による省エネ家電の特需の反動から、家電量販店の不振があげられる。

立地別でみると、中心地域は全体が-0.3%で、周辺地域は-1.9%、郊外地域は-2.4%であった。

地域別では、東北地域が全体で4.7%、特に中心地域は9.6%と好調であった。主要要因として復興需要に加え、東北新幹線の全面復旧(9月23日)や、月後半の3連休で利用できる「スリーデーパス」による来街客の増加で、駅ビルを中心に売り上げを伸ばしている。また今月は被災地においてもリニューアル効果や販促効果による売上増との報告が増えており、東日本大震災後半年が過ぎ、比較的被害の小さかったSCから順次通常営業に戻る兆しが見られる。北海道地域も同じく4.7%と好調に推移している。これは地下通路の開通による買い回り効果や、リニューアル効果があげられる。

一方近畿地域は全体で-3.7%。依然として大型商業施設の開業により、周辺の競合施設が苦戦している。四国地域は全体で-3.2%、これは台風の影響が大きい。また前月に引き続き北陸地域は全体で-2.7%、中心地域は-6.0%と厳しい結果になった。主要要因としてテナント退店による空きスペースの増加があげられる。

政令指定都市別で見ると、仙台市が全体で9.6%、テナントも10.1%と好調である。次いで札幌市が5.0%、広島市が3.2%であった。

※本調査は、2009年12月末現在の全SC3,013SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※集計SC 521SC 回収率 52.1%

※「立地別・地域別 総売上高」「立地別SC・キーテナント・テナント効率」につきましても、東日本大震災の影響により、販売状況を正確に把握できないことから、発表を控えさせていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立 地		SC数	総 合	テナント	キ ー テナント
総 合		521	-1.6	-0.9	-3.1
中心 地域	大都市	68	0.6	0.6	3.5
	中都市	82	-1.2	-0.5	-2.9
	小都市	24	-2.5	-3.1	-1.9
	小 計	174	-0.3	0.1	-2.1
周 辺 地 域		125	-1.9	-0.7	-4.6
郊 外 地 域		222	-2.4	-2.0	-3.0

(注) ■ 都市規模

大 都 市 : 政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜
・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中 都 市 : 上記都市を除く人口15万人以上の都市

小 都 市 : 人口15万人未満の都市

■ 立 地 (市・町・村の行政区画単位で区分)

中心(商業)地域 : 当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地

周辺(商業)地域 : 中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域

郊外地域 : 都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域 立地(SC数)		総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州 ・沖縄
総 合	521	-1.6	4.7	4.7	-1.7	-0.6	-2.7	-3.7	-1.0	-3.2	-1.6
中心地域	174	-0.3	2.9	9.6	0.4	2.3	-6.0	-4.0	-2.9	-3.4	-1.2
周辺地域	125	-1.9	6.8	2.0	-2.4	-5.8	1.4	-3.8	-0.6	0.2	1.6
郊外地域	222	-2.4	8.3	3.1	-3.9	-1.0	-3.0	-3.5	0.4	-3.6	-3.4
(SC数)		521	15	28	181	49	46	118	28	14	42

(注) ■ 地 域

北 海 道 : 北海道

東 北 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関 東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北 陸 : 新潟県・富山県・石川県・福井県

中 部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近 畿 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中 国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四 国 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市		SC数	総 合	テナント	キーテナント
総 合		521	-1.6	-0.9	-3.1
政 令 指 定 都 市	札 幌 市	10	5.0	5.0	-
	仙 台 市	3	9.6	10.1	3.3
	千 葉 市	5	-0.4	-0.4	0.0
	東 京 区 部	49	-1.1	-0.1	-4.9
	横 浜 市	16	2.0	2.9	-4.0
	川 崎 市	5	-0.2	1.1	-5.4
	名 古 屋 市	12	-0.8	0.4	-4.4
	京 都 市	11	-3.0	-4.3	-1.4
	大 阪 市	27	-4.9	-4.8	-5.4
	神 戸 市	18	-1.5	-1.7	-0.9
	広 島 市	8	3.2	4.1	-1.8
	北 九 州 市	1	1.8	1.9	0.8
	福 岡 市	9	-1.6	-0.7	-7.5
	小 計		174	-0.7	0.0
そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	-0.3	0.5	-1.1
	東 北	25	3.7	4.1	2.8
	関 東	106	-2.7	-2.6	-3.0
	中 部	37	-0.5	1.1	-2.7
	北 陸	46	-2.7	-2.4	-3.0
	近 畿	62	-3.7	-3.9	-3.5
	中 国	20	-2.3	0.0	-5.5
	四 国	14	-3.2	-5.7	-0.9
	九 州・沖 縄	32	-1.7	-0.9	-3.2
	小 計		347	-2.1	-1.6

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、
堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が政令指定都市と
なったが、さいたま市、相模原市は関東地域、
静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、
堺市は近畿地域、岡山市は中国地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態		SC数	%
総 合		521	-1.6
核なし		246	-0.2
1 核	Dpt	15	-2.6
	GMS	132	-2.2
	SM	49	-3.1
	SS	3	-1.3
	HC	2	-7.8
	DS	3	-3.3
	専門店	4	-9.8
	生協	7	-5.4
	農協	1	-2.0
	Dgs	1	-1.0
	小 計		217
2 核	Dpt+GMS	5	-2.5
	Dpt+SM	1	10.4
	Dpt+SS	-	-
	Dpt+HC	-	-
	GMS+SM	2	-3.2
	GMS+SS	-	-
	GMS+HC	5	-2.7
	GMS+専門店	6	-5.2
	SM+SS	5	-4.4
	SM+HC	4	-1.3
	SM+DS	5	-4.0
	SM+専門店	6	-5.3
	DS+専門店	-	-
	生協+HC	1	0.0
	その他	6	-3.3
	小 計		46
3 核	Dpt+GMS+SS	-	-
	Dpt+GMS+HC	2	-5.5
	GMS+SS+HC	-	-
	GMS+DS+HC	-	-
	SM+SS+HC	-	-
	その他	10	-0.2
小 計		12	-1.1
4 核	その他	-	-
小 計		-	-

表-5 立地別SC・キーテナント・テナント効率

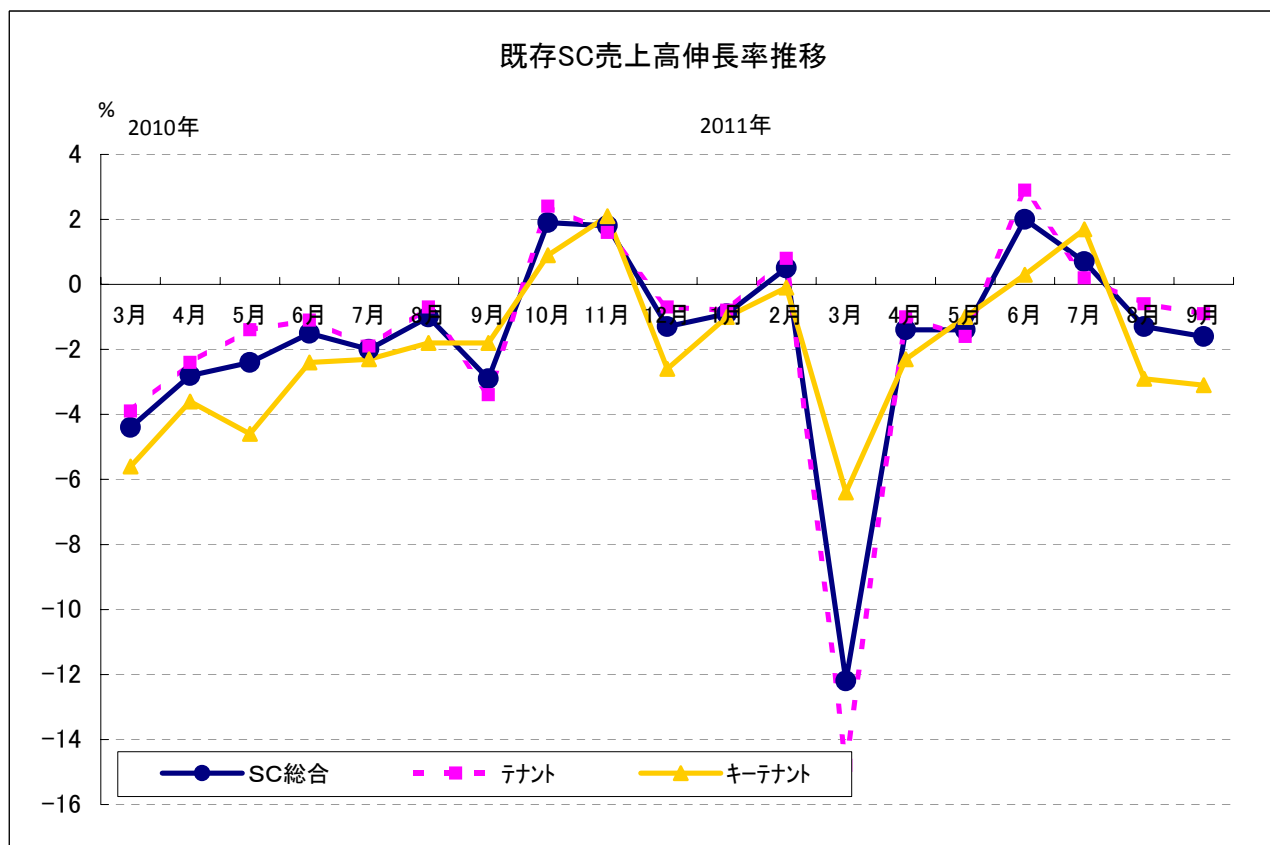
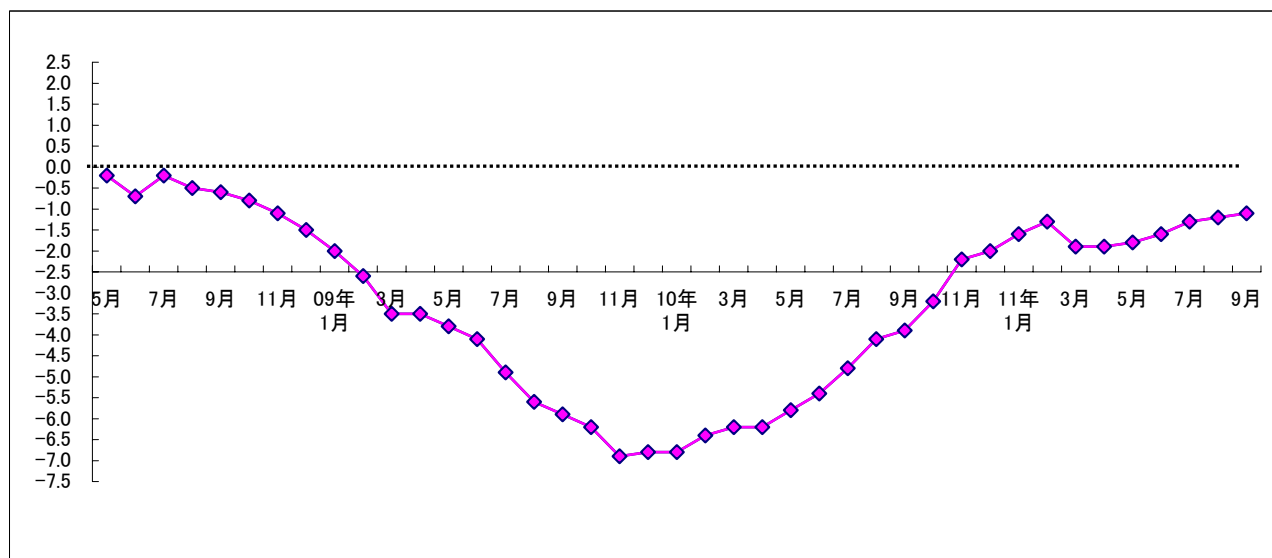


表-6 既存SC移動平均(年間)

	2011	2010	2009	2008	2007	2006
1月	-1.6	-6.8	-2.0	-0.2	0.9	0.2
2月	-1.3	-6.4	-2.6	-0.7	1.0	0.6
3月	-1.9	-6.2	-3.5	0.2	0.6	1.0
4月	-1.9	-6.2	-3.5	0.0	0.5	1.1
5月	-1.8	-5.8	-3.8	-0.2	0.4	1.2
6月	-1.6	-5.4	-4.1	-0.7	0.5	1.2
7月	-1.3	-4.8	-4.9	0.0	0.0	1.2
8月	-1.2	-4.1	-5.6	-0.5	0.0	1.2
9月	-1.1	-3.9	-5.9	-0.6	-0.3	1.2
10月		-3.2	-6.2	-0.8	-0.1	1.1
11月		-2.2	-6.9	-1.1	0.0	0.8
12月		-2.0	-6.8	-1.5	0.0	0.3



(注1) 移動平均(年間): 該当月を含めて過去1年間の平均値を算出したもの。季節変動による特殊要因や曜日・祭日などの影響が取り除かれ、方向感が把握しやすくなる。

* 例えば、2011年9月の移動平均は、2010年10月～2011年9月の累計売上に対する前年比です。

$$\left(\frac{2010年10月 \sim 2011年9月}{2009年10月 \sim 2010年9月} - 1 \right) \times 100 = 9月の移動平均伸率(\%)$$

表-7 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		SC数	S C			百貨店	チェーン ストア
			既 存 S C				
			SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	(185)	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	(255)	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	(328)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	(462)	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	(522)	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	(550)	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	(523)	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	(515)	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	(553)	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	(507)	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
	10年	(513)	-2.0	-1.7	-2.8	-3.1	-2.6
2010四半期別	(1 ～ 3月)	(551)	-4.2	-3.6	-5.5	-4.9	-4.7
2010四半期別	(4 ～ 6月)	(526)	-2.2	-1.7	-3.4	-4.0	-3.9
2010四半期別	(7 ～ 9月)	(531)	-2.1	-2.1	-2.0	-3.1	-0.9
2010四半期別	(10 ～ 12月)	(535)	0.7	1.0	0.0	-0.8	-0.9
2010上半期	(1 ～ 6月)	(488)	-3.3	-2.8	-4.4	-4.4	-4.3
2010下半期	(7 ～ 12月)	(523)	-0.8	-0.7	-1.0	-1.8	-0.9
2010 月別	1月	(557)	-5.3	-4.5	-7.1	-5.7	-4.9
	2月	(541)	-2.5	-2.1	-3.2	-5.4	-2.4
	3月	(546)	-4.4	-3.9	-5.6	-3.5	-6.6
	4月	(517)	-2.8	-2.4	-3.6	-3.7	-4.9
	5月	(539)	-2.4	-1.4	-4.6	-2.1	-5.3
	6月	(540)	-1.5	-1.1	-2.4	-6.0	-1.4
	7月	(537)	-2.0	-1.9	-2.3	-1.4	-1.2
	8月	(538)	-1.0	-0.7	-1.8	-3.2	-1.1
	9月	(537)	-2.9	-3.4	-1.8	-5.2	-0.3
	10月	(533)	1.9	2.4	0.9	0.6	-0.3
	11月	(534)	1.8	1.6	2.1	-0.5	-0.5
	12月	(538)	-1.3	-0.7	-2.6	-1.5	-1.6
2011 月別	1月	(533)	-0.9	-0.8	-1.0	-1.1	-0.1
	2月	(505)	0.5	0.8	-0.1	0.7	0.6
	3月	(531)	-12.2	-14.8	-6.4	-14.7	0.3
	4月	(518)	-1.4	-1.0	-2.3	-1.5	-1.3
	5月	(524)	-1.4	-1.6	-1.0	-2.4	-1.4
	6月	(532)	2.0	2.9	0.3	0.3	0.1
	7月	(531)	0.7	0.2	1.7	-0.1	2.1
	8月	(521)	-1.3	-0.6	-2.9	-1.7	-2.2
	9月	(521)	-1.6	-0.9	-3.1	-2.4	
出典		日本ショッピングセンター協会			百貨店 協 会	チェーン ストア協会	

調査分析

(社)日本ショッピングセンター協会 情報企画部
TEL 03-3536-8121 <http://www.jcsc.or.jp>